

認定かかりつけ 基準薬局リスト

鹿角支部

黒沢薬局 ☎0186-35-3200 ☎35-3990

すみれ調剤薬局小坂店 ☎0186-29-5121 ☎29-5122

大館・北秋田支部

わかば薬局 ☎0186-45-1660 ☎45-1661

能代・山本支部

調剤薬局ユニファール ☎0185-89-1701 ☎89-1702

とまと薬局 ☎0185-54-5950 ☎53-2911

本荘・由利支部

イクダ調剤薬局 ☎0184-65-2047 ☎65-2327

上原調剤薬局 ☎0184-22-2728 ☎24-0432

おいかた調剤薬局 ☎0184-62-4122 ☎62-4133

大越薬局 ☎0184-22-3903 ☎23-5011

大越調剤薬局あかぬま店 ☎0184-24-0541 ☎24-0548

大越調剤薬局このうら店 ☎0184-74-3988 ☎74-3989

オレンジ薬局 ☎0184-28-1201 ☎28-1202

象潟調剤薬局 ☎0184-43-4655 ☎43-5712

サン薬局 ☎0184-23-7338 ☎27-1570

西目調剤薬局 ☎0184-33-4880 ☎33-4877

ねむの木調剤薬局 ☎0184-43-2000 ☎43-2060

本荘駅前調剤薬局 ☎0184-28-4550 ☎23-3577

ぼんてん調剤薬局 ☎0184-44-8398 ☎44-8399

地域の皆様のために新しく作られた
“認定かかりつけ基準薬局”です



新マーク



お薬手帳

処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp

【海外のリスク管理機関などにおける摂取許容量】(表2)

1日当たりの悪影響のない最大摂取量	飲料換算	機関名	
妊婦	300mg/日	世界保健機関(WHO) オーストリア保健・食品 安全局(AGES)	
	200mg/日	英国食品安全庁(FSA)	
	300mg/日	コーヒーカップ2杯 (150ml/杯)	カナダ保健省
		コーヒーマグカップ2杯 (237ml/杯)	
2.5mg/体重(kg)/日	コーラ1缶(355ml) 当たりのカフェイン 含有量36~46mg	カナダ保健省	
子供(4~6歳)			
子供(7~9歳)			62.5mg/日
子供(10~12歳)			85mg/日
健康な成人	400mg/日	コーヒーマグカップ3杯 (237ml/杯)	

食品安全委員会ファクトシートから

【市販飲料カフェイン含有量調査結果】

- 緑茶(49検体)……5~23mg/100ml
- ほうじ茶(2検体)……10.15mg/100ml
- 烏龍茶(2検体)……10.14mg/100ml
- エナジードリンク(26検体)
……………14~180mg/本

東京都健康安全研究センターから

ヒ、茶系飲料、炭酸飲料、清涼飲料水などにも含有されています。エナジードリンクはカフェイン量が他

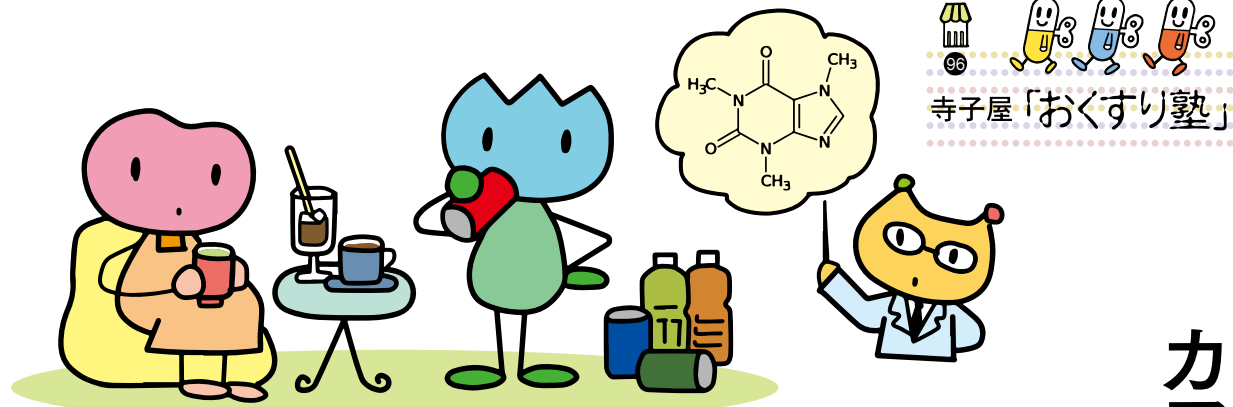
カフェインの過量摂取問題

海外でも若者を中心にカフェインの過量摂取は問題になっていいます。国内では自殺企図などでのOTC薬の眠気防止薬の大量摂取によるカフェイン中毒で医療機関を受診する事例が報告されています。カフェインは眠気防止薬以外にも解熱鎮痛薬、風邪薬、乗り物酔い防止薬やビタミン含有薬品にも含まれています。重複服用時には、医師、薬剤師にご相談ください。

の飲料と比べ多い場合があります。特に飲む量には注意しましょう。

医療用医薬品との相互作用

気管支拡張剤であるテオフィリン系薬服用中にコーヒー、紅茶、緑茶などのカフェイン含有物を大量に摂取すると、頭痛や動悸などが起こる可能性があります。これはテオフィリンとカフェインの分解が互いに邪魔され両者の作用が増強するためです。この他にも、痛風治療薬アロプリノールや抗潰瘍薬シメチジンなどもカフェインの作用を増強するため、カフェインの大量摂取は控えた方がよいでしょう。(会営薬局のしろ 木戸 英樹)



寺子屋「おくすり塾」

カフェインの取り過ぎにご用心

2015年暮れにエナジードリンクと眠気防止薬の摂取で死亡報告があり、新聞やテレビで取り上げられました。カフェインの過量摂取が原因だったようです。

日本中毒学会の調査により2011年度からの5年間に少なくとも101人が救急搬送され、7人が心停止、うち3人が死亡したことが分かりました。調査は、全国の救急医療機関38施設を対象に、11~15年度に救急搬送され、カフェイン中毒と判明した人を集計。97人は眠気防止薬を服用しコーヒーやエナジードリンクを併用した人も。なお、残る4人はエナジードリンクのみで救急搬送されたとのことでした。

カフェインとは

カフェインといえば緑茶や紅茶、コーヒーにも入っているもので、私たちに身近な成分です。カフェインはコーヒー豆、マテ茶を含む茶葉、カカオ豆、ガラナなどに天然に含まれている食品成分の一つです。

【カフェインを多く含む主な食品】(表1)

食品名	カフェイン含有量	備考
コーヒー	60mg/100ml	浸出方法: コーヒー粉末10g/熱湯150ml
インスタントコーヒー	57mg/100ml	浸出方法: インスタントコーヒー2g/熱湯140ml
紅茶	30mg/100ml	浸出方法: 茶5g/熱湯360ml、1.5~4分
ぜん茶	20mg/100ml	浸出方法: 茶10g/90°C430ml、1分

食品安全委員会ファクトシートから

コーヒーや茶葉から抽出されたカフェイン(抽出物)については、清涼飲料水(コーラ等)などに苦味料等の用途で食品添加物として使用されています。カフェインを多く

含む主な食品は表(※表1)のとおりです。

○効能又は効果
ねむけ、倦怠感、血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛(片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛など)

○過量投与による影響
消化器症状(悪心、嘔吐等)、循環器症状(不整脈、血圧上昇等)、精神神経症状(痙攣、昏睡)、呼吸器症状(呼吸促進、呼吸麻痺等)などの増悪を起こすことがある。

(※カフェイン添付文書より)

カフェインの影響は個人差が大きいため日本では食品の1日あたりのカフェイン摂取許容量は設定されていません。目安にするため海外のリスク管理機関などにおける摂取許容量を示します。(※表2)
海外の規制当局などによる悪影響のないカフェイン最大摂取量は、健康な成人男性で400mg/日、妊婦で200~300mg/日、小児で2.5mg/体重(kg)/日と規定されています。コーヒー1杯を150mlとすると1日4~5杯で成人の上限量となります。
カフェインは医薬品の他、コ